

P型防音テープの貼り方

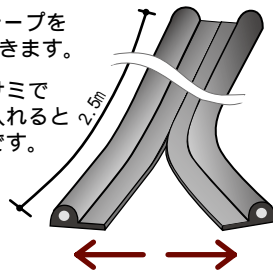
貼る前の準備 (重要)

サッシ枠をきれいに拭きます。

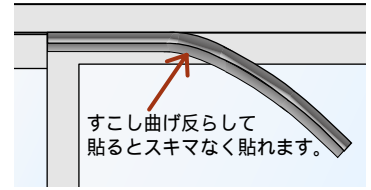
サッシ枠がきれいな状態の場合、4回程度貼り直しできますが、汚れていると貼り直しできません。また長期保持できず剥がれてしまいます。

P型防音テープを手で2つに裂きます。

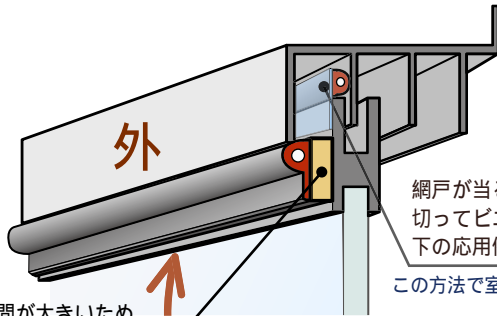
始めにハサミで切れ込みを入れると裂けやすいです。



窓を施錠し、剥離紙をはがして貼り付けます。寸法を測って先に切ってから貼るほうがやり易いです。

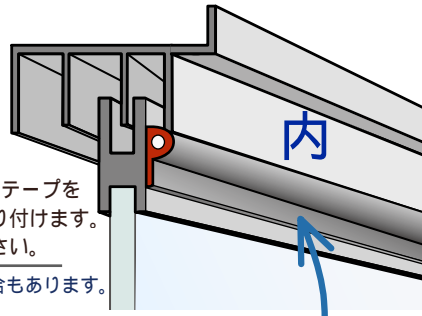


始めは、軽く貼って修正し、位置が決まったらしっかり押付けます。

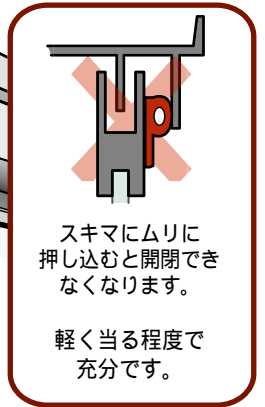


この部分は、空間が大きいため防音戸当りテープをかませます。

100円ショップで入手できます。厚さは3ミリと5ミリがあります。



網戸が当たる場合は、P型防音テープを切ってビニールテープで貼り付けます。下の応用例を参考して下さい。この方法で室内側から貼れる場合もあります。

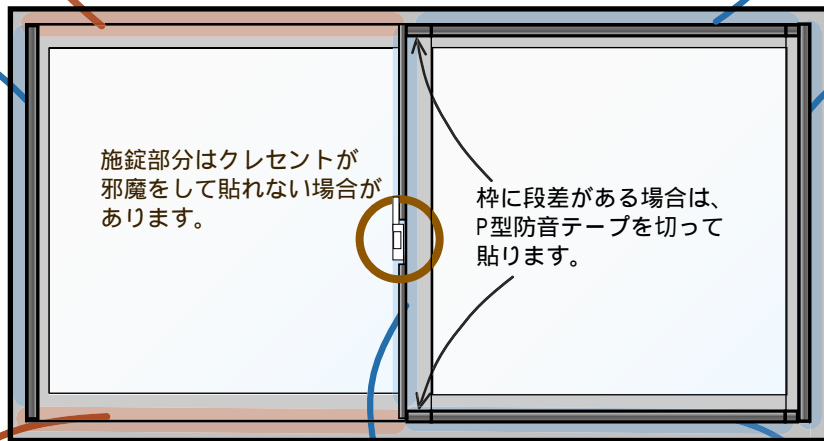
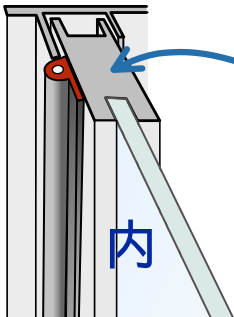


スキマにムリに押し込むと開閉できなくなります。軽く当る程度で充分です。

P型防音テープは、全て **窓側(可動側)** に貼ります。

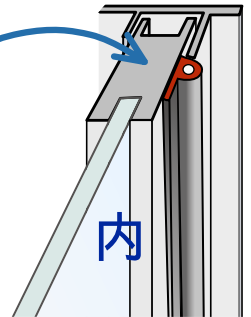
室外から貼る部分

室内から貼る部分

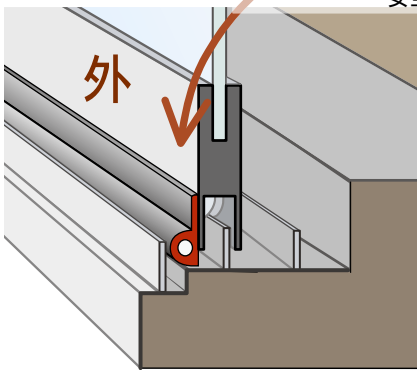


施錠部分はクレセントが邪魔をして貼れない場合があります。

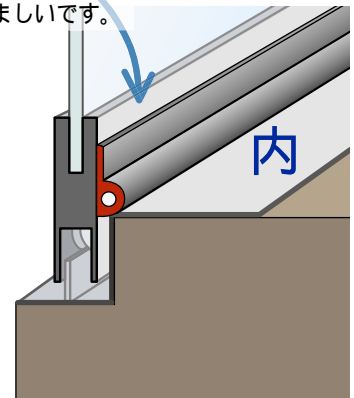
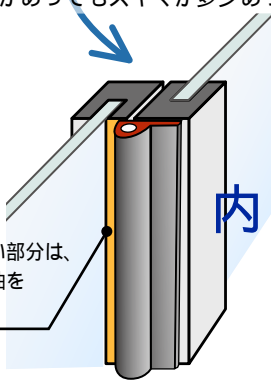
枠に段差がある場合は、P型防音テープを切って貼ります。



ワンルームマンションなどでは、密閉性を高めすぎると酸欠の恐れがありますので空気の入り口と出口を確保してから設置して下さい。安全性を考えれば、音漏れがあってもスキマが多少あったほうが望ましいです。



くっついて欲しくない部分は、先にサラダ油か機械油を塗っておきます。



2階以上でベランダがない窓の場合、外側から貼る部分は設置できません。まれに内側から貼れる場合もありますが概ね開閉時に右の窓が引っかかってしまいます。

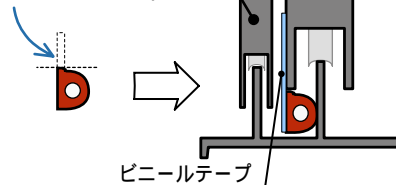
P型防音テープの応用

サッシ枠は、メーカーごとにいろいろな工夫と装飾が施されています。そのため、P型防音テープがうまく貼り付けられない場合があります。

そのような場合は、P型防音テープの一部を切り取ったり、戸当りテープをかませるなどして対応します。

網戸が当たる場合。

この部分をカットします。



サッシ枠に凸凹がある場合。

この部分をカットします。

